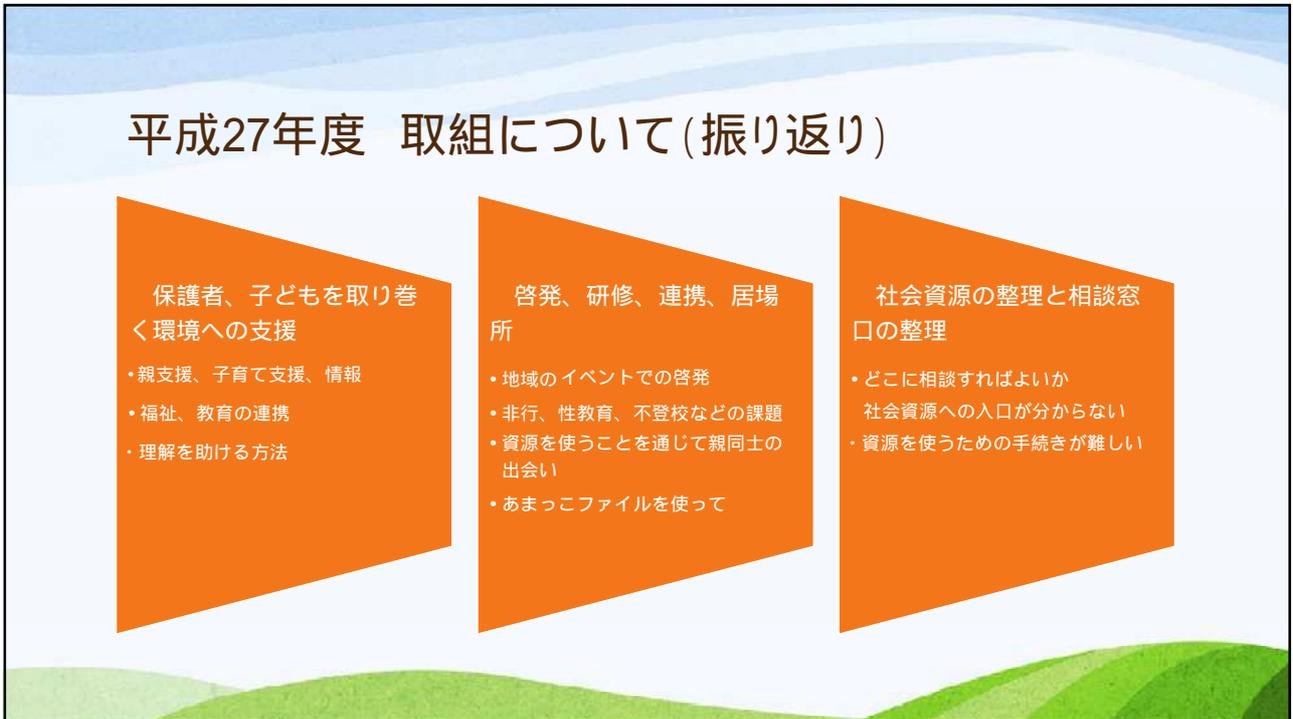




平成28年度 あまっこ部会活動報告

平成29年5月19日
あまっこ部会長 妹尾 眞里



平成27年度 取組について(振り返り)

保護者、子どもを取り巻く環境への支援

- ・親支援、子育て支援、情報
- ・福祉、教育の連携
- ・理解を助ける方法

啓発、研修、連携、居場所

- ・地域のイベントでの啓発
- ・非行、性教育、不登校などの課題
- ・資源を使うことを通じて親同士の出会い
- ・あまっこファイルを使って

社会資源の整理と相談窓口の整理

- ・どこに相談すればよいか
- ・社会資源への入口が分からない
- ・資源を使うための手続きが難しい

平成28年度のテーマ

- あまっこファイルについて
- 子どもの社会資源について
- 啓発活動について

あまっこファイルについて



あまっこファイルは、「尼崎の子どもたちのことを、親しみをもってみんなでサポートしていけるように」という願いを込めて作成しました。

苦手な事、困った時の対応、得意な事、楽しく過ごすための工夫などを記入することができます。

「あまっこファイル」で検索すると、ダウンロードができます。

また、あまっこ部会事務局では、あまっこファイルの書き方教室や、相談会を行っています。

あまっこファイルについて 啓発活動の報告

- 「あまっこファイル」の説明会については、市民を対象とする開催に加えて、児童発達支援センターからの個別の依頼にも対応し、平成28年度は13回開催し、参加者数は47人(書き方教室6回・42人、相談会7回・5人)となっている。
- 相談会、教室とも、広報が不十分で、参加者は少なかった。
- 児童発達支援センターでの教室は、療育中に行うことで保護者も参加がしやすかった。

名称等		1	2	3	4	5	6	7	合計
書き方教室	開催日	11月8日	2月21日						
	参加人数	1人	2人						3人
相談会	開催日	9月26日	10月17日	11月21日	12月19日	1月16日	2月20日	3月13日	
	参加人数	0人	0人	0人	1人	0人	2人	2人	5人
書き方教室 (事業所等からの依頼による)	開催日	7月22日	11月17日	12月22日	2月6日				
	参加人数	6人	9人	14人	10人				39人

あまっこファイルについて 大切にしたいこと

- 情報がひとり歩きしないように
- 理解を深めるツールとしてあまっこファイルがある。
- 新たに出会う人に、丁寧に手渡ししていく
家庭、学校、地域...

あまっこファイルについて 課題

- あまっこファイルがどんなものなのか、受け取る人への啓発と、ポスターによる広報活動を行っていこう
- 活用している具体例などを、紹介していきたい
- Q&A、書き方の例の更新も検討しよう
- 汎用性が高い良さもあるが、書くのに困る項目もある。引き続き、説明会や教室を続けていこう

子どもの社会資源について 課題整理

- サービスを使う時の手続きが複雑で分かりにくい！
- 相談窓口はどんなところがあるの？
- 応援レターの次のステップとして、どんなサービスが使える、何が相談できるのか、見えたならわかりやすい

サービスの使
い方をおさら
いしよう！

「あまっこ子育
て応援レター」
もありますよ

相談窓口や手続き、制度を紹
介できるリーフレットを作成し
よう！



あまっこ子育て 応援レター

目的: 保護者の困りごとや子どもの発達についての気づきが、早期の支援につながるように作成

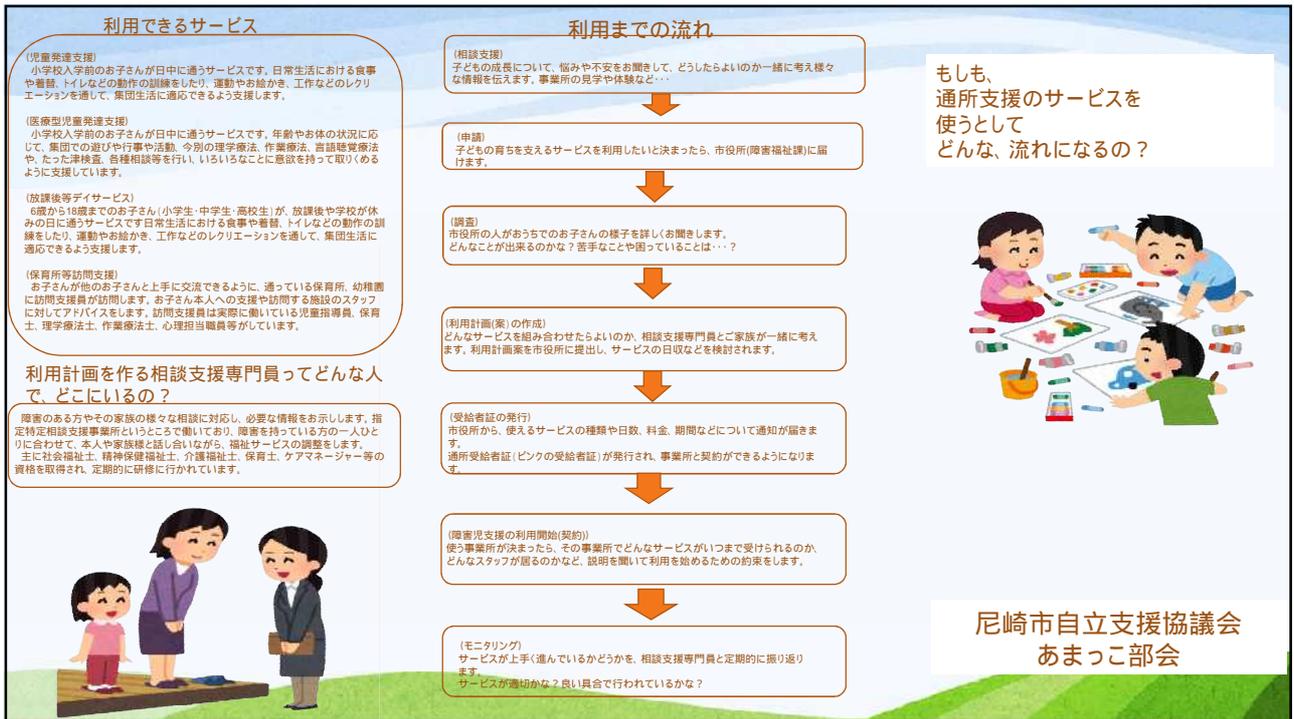
- 相談の機会が少なくなりがちな4歳児のお子さんがおられるご家庭へ配布
- 子育てのヒント、成長のようす、子育ての応援メッセージなどをお伝えしている
- 保健センター、保育所、すこやかプラザ、児童家庭支援センター、教育総合センターの窓口を案内
- 尼崎市保健所健康増進課が、庁内の関係課や各団体の意見を参考に作成

子どもの社会資源について 提案

- 子どもが、サービスを使う時の手続きが複雑で分かりにくい!
- 応援レターの次のステップの案内があればわかりやすい



リーフレットの作成を検討



啓発活動について 現状と提案

- 保護者同士つながる機会が減ってきている...親の会への未加入、就労
- 一方、保護者同士でつながりがないと、学校などへの相談がしづらい。情報収集も難しい
- 『仲よし運動会』など、保護者だけでなく、地域の人やボランティア、他の学校のお友だちと触れ合える行事がなくなった
- 授業についていけないことや、家庭内の課題があり、不登校になる子ども、就労につながりにくい子どもへのつながりも必要

子育ての中で、自分たちを助けてくれる人や機関、手だてがたくさんあると感じたことを伝えていきたい！

啓発活動について 方法

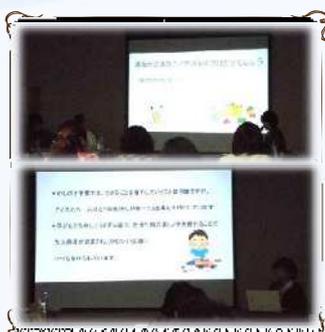


- 地域の人へも、保護者へも啓発の機会となるようなイベントを開催しよう！
- テーマは
みんなで支えるこどもの育ち
「一緒に考えよう みんなのあまっこ」
ひとりひとりのこどもがその子らしく育ち 生活できるまちを めざして

啓発活動について 内容

- 対象:子育て中の方、子どもの保育・福祉・医療など支援に関わる方、関心のある方
- 定員:70名(中央公民館小ホール)
- プログラム:
 - 第1部:「子育てのヒント」では、1)こどもの遊びに含まれる様々なエッセンス、2)こどもの行動の理解と対応、3)尼崎のこどものサポートファイル「あまっこファイル」の紹介と実践を、支援の現場から報告
 - 第2部「まんまるはーとでつながりたい」では、「知的障害 疑似体験」というワークショップを通して、知的障害のある人の気持ちを体験

啓発活動について 内容 (イベントの様子)



遊びを通じて大切にしていること
~保育の現場から
尼崎市立たじかの園
かしのき学園



困っているこどもの行動の理解
~ほめ方・叱り方
ひょうご発達障害者支援センター
芦屋ランチ



次のステージへ引き継ぐときに
~あまっこファイルを知っていますか?

啓発活動について 内容（イベントの様子） 「まんまるはーと」でつながりたい



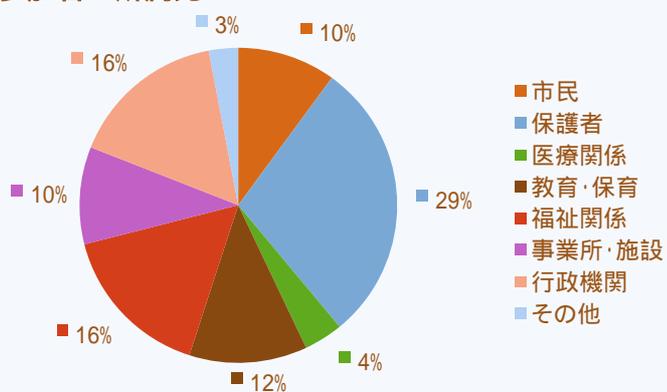
軍手を2重にはめて折り紙を体験。
「早く早く！時間がないよ！」のことばに、あせりや、腹立たしさ、できなくて悲しい気持ちが生じます。
「ゆっくりでいいよ」と温かい励ましには、安心します。



知的障害 疑似体験というワークショップを通じ、知的障害の人の特性や気持ちを体験しました。

啓発活動について 結果

参加者の所属先

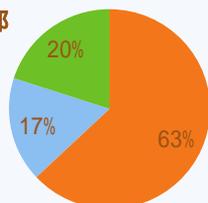


- 参加者数：67名
- アンケート回答率：73.1%
- 市民、当事者の方、保護者の方とともに、医療、教育、福祉、行政の関係者、ボランティアさん、主任児童委員、事業所の方など、地域の方もたくさんご参加いただきました。

啓発活動について 結果

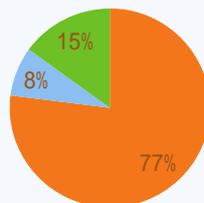
参加者の満足度

第1部



■ 良かった
■ やや良かった
■ 普通

第2部



■ 良かった
■ やや良かった
■ 普通

総合満足度



■ 良かった
■ やや良かった
■ 普通

啓発活動について イベントアンケートより

・ 第1部

- ・ 遊びを通して親子でほめて楽しむ生活をしていきたいと改めて思いました。あまっこファイルの存在を知ることが出来てよかったです。
- ・ 遊ぶことの大切さ、意義を再認識できました。子育ては「ほめて育てる」ものということは理解していましたが全く出来なかったことを反省しました。
- ・ 小さい子どもに限らず障害の有無に限らず成長過程のたくさんの場面でのヒントにもなっていたと思います
- ・ 日頃の対応に随分参考になりました。いくつか発行物に利用したいと思います。
- ・ 子どもの主体性や自己肯定感を伸ばすことの大切さ 特性を受け止めたうえででの支援が必要なのがよくわかりました。
- ・ 私自身子育ては終わっていますが、仕事をする上であらためて考えさせられました

啓発活動について イベントアンケートより

• 第2部

- とてもわかりやすいワークショップでためになりました。思い返すと抽象的な言葉を良く使っているなと思いました。普段から意識していきたいです。
- ワークすることで話を聴くだけでは理解しづらい障害について少しでも理解できた様に思います
- 少しわかってもらえるだけで本人も家族も生きやすくなるのかなあとと思います。応援団が増えて優しい社会になっていきますように
- ワークをとおして当事者が感じる困り感を体験することが出来た。いろいろな視点から考える為の良い経験となった。本人に寄り添った支援を心がけていきたい

啓発活動について イベントアンケートより

- 「人の支援=やさしさがあれば生きていけます。」素敵な言葉です。ワーク楽しかったです。
- 今までより障害者に対する理解が出来たようで嬉しい。心に障害はない！という言葉がとても心に残りました。
- 具体的とてもわかりやすかったです。職場の皆でやってみて保育の参考にしていきたいと思います。

イベントで出会った方から、新たに別の機会で、
「まんまるはーとでつながりたい」
開催のリクエストをいただきました！

あまっこ部会 平成29年度は...

- 引き続き、あまっこファイルの書き方教室、相談会は継続をしていく。具体例のバリエーションを検討。また、実際にファイルを作ってみて、活用してみた方の意見をまとめていく
- 社会資源一覧や、リーフレットの作成
- 啓発活動では、通所事業所とともに学ぶ研修などを検討していく
- 教育との連携、不登校の問題、次のライフステージに立つときの切れ目のない支援のつながり方についても検討を重ねていく

ご清聴ありがとうございました

あまっこ部会